

— 山形森林管理署最上支署 からののお知らせ —

山形森林管理署最上支署

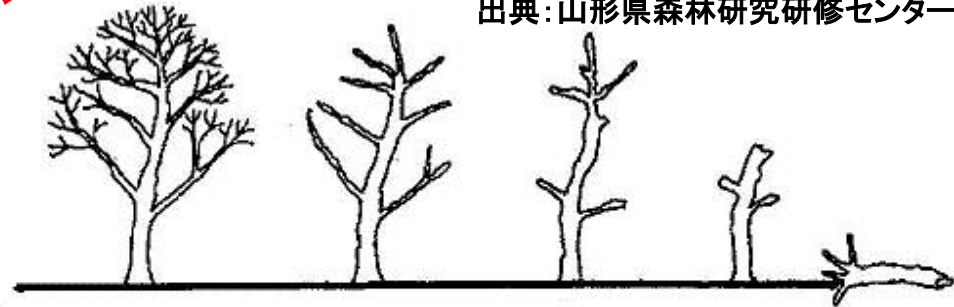
0233-62-2122

ナラ枯れ枯損木に注意!

ナラ枯れ被害木は、枝が落ち幹が折れ、根から倒れてきます。イラストのように枯れてから4～5年後以降の被害木が大変危険です。

これからキノコ採りシーズンに入ります。特に風の強い日など、ナラ枯れ被害木に絶対に近づかないよう十分注意して下さい。

出典：山形県森林研究研修センター



枯死木様態
モデル
枯死後

1
小枝が残っている
1～2年

2
太い枝のみ残る
2～4年

3
太い枝が折れる
4～6年

4
幹が折れる 根倒れする
5～9年

猛毒きのこ「カエンタケ」に注意!

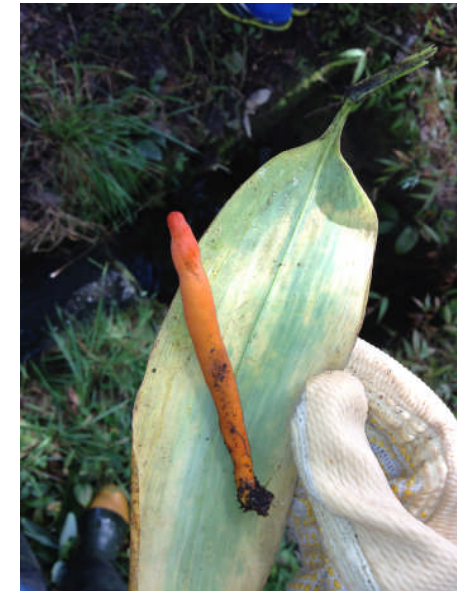
ナラ枯れ被害地にて、写真の火焰茸(カエンタケ)の発生が確認されています。猛毒のキノコですので絶対に食べないで下さい。また触れるだけで皮膚がただれる場合がありますので、絶対に直接触らないようにご注意願います。

発生は夏から秋頃のナラ枯死木根際付近が主ですが、まれに写真のように幹からも発生します。

24.10.5戸沢村で確認されたカエンタケ



まれに幹に発生：小国町25.7.24撮影



火焰茸(カエンタケ)

ニクザキン目、ニクザキン科の猛毒きのこ。毒性が強く、食べても、触っても毒である。死亡例もあり、後遺症が残って小脳が萎縮するとの報告あり。オレンジがかった赤色で、形は棒状かとさか状。